

補助金活用のご提案

- 事業再構築補助金
- ものづくり補助金

※本資料は確定情報ではありません
ひまわりが1月16日時点で入手した情報をもとに
分析や予測を加え、作成しています。

ひまわり経営サポート株式会社 P1

大阪市北区西天満5丁目1-15 西天満パークビル2号館 2階

【TEL】 06-6311-8001 【E-mail】 info@himawariks.co.jp

ものづくり補助金のひまわり経営の採択結果 P2

■ひまわり経営サポートの申請結果

実施年度	ひまわりの支援数	ひまわりの採択数	ひまわりの採択率	全国の採択率	ひまわりと全国平均との差
2018年度1次	87件	69件	79.3%	55.1%	+24.2ポイント
2019年度1次	139件	87件	62.5%	50.0%	+12.5ポイント
2020年度1次	23件	19件	82.6%	62.5%	+20.1ポイント
2020年度2次	53件	48件	90.5%	57.1%	+33.4ポイント
2020年度3次	45件	36件	80.0%	38.1%	+41.9ポイント

■(参考資料)全国の申請結果

実施年度	申請数	採択数	採択率
2018年度1次	17,275件	9,518件	55.1%
2019年度1次	14,927件	7,468件	50.0%
2020年度1次	2,287件	1,429件	62.5%
2020年度2次	5,721件	3,267件	57.1%
2020年度3次	6,923件	2,637件	38.1%

申請には「GビズID (gBizプライム)」が必要

■「GビズID (gBizプライム)」の取得方法

＜手続き方法＞

1. 「GビズID」のホームページから「gBizIDプライム作成」のボタンをクリックして、申請書を作成・ダウンロード。

※「GビズID」には、2種類のアカウントがあるが、補助金申請の手続きには、「gBizIDプライム」のアカウントが必要である。

2. 必要事項を入力して、作成した申請書と印鑑証明書を「GビズID運用センター」に郵送

3. 申請が承認されると、メールが送られてくる。審査に2週間程度要します。

4. メールに記載されたURLをクリックして、パスワードを設定したら手続き完了。



早急にGビズIDを申請してください

中小企業等事業再構築促進事業

令和2年度第3次補正予算案額 **1兆1,485億円**

中小企業庁 技術・経営革新課
03-3501-1816

事業の内容

事業目的・概要

- 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、当面の需要や売上の回復が期待し難い中、ポストコロナ・ウィズコロナの時代の経済社会の変化に対応するために中小企業等の事業再構築を支援することで、日本経済の構造転換を促すことが重要です。
- そのため、新規事業分野への進出等の新分野展開、業態転換、事業・業種転換、事業再編又はこれらの取組を通じた規模の拡大等、思い切った事業再構築に意欲を有する中小企業等の挑戦を支援します。
- また、事業再構築を通じて中小企業等が事業規模を拡大し中堅企業に成長することや、海外展開を強化し市場の新規開拓を行うことが特に重要であることから、本事業ではこれらを志向する企業をより一層強力に支援します。
- 本事業では、中小企業等と認定支援機関や金融機関が共同で事業計画を策定し、両者が連携し一体となって取り組む事業再構築を支援します。

成果目標

- 事業終了後3～5年で、付加価値額の年率平均3.0%(一部5.0%)以上増加、又は従業員一人当たり付加価値額の年率平均3.0%(一部5.0%)以上の増加を目指します。

条件 (対象者、対象行為、補助率等) ※本事業では電子申請のみを受け付けます。



事業イメージ

補助対象要件

- ① 申請前の直近6カ月間のうち、任意の3カ月の合計売上高が、コロナ以前の同3カ月の合計売上高と比較して**10%以上減少**している中小企業等。
- ② 自社の強みや経営資源 (ヒト/モノ等) を活かしつつ、経産省が示す「事業再構築指針」に沿った**事業計画**を認定支援機関等と策定した中小企業等。

補助金額・補助率

	補助金額	補助率
中小企業 (通常枠)	100万円以上6,000万円以下	2/3
中小企業 (卒業枠) ※1	6,000万円超～1億円以下	2/3
中堅企業 (通常枠)	100万円以上8,000万円以下	1/2 (4,000万円超は1/3)
中堅企業 (グローバルUV字回復枠) ※2	8,000万円超～1億円以下	1/2

※1. 中小企業 (卒業枠) : 400社限定。

計画期間内に、①組織再編、②新規設備投資、③グローバル展開のいずれかにより、資本金又は従業員を増やし、中小企業から中堅企業へ成長する事業者向けの特別枠。

※2. 中堅企業 (グローバルUV字回復枠) : 100社限定。以下の要件を全て満たす中堅企業向けの特別枠。

①直前6カ月間のうち、任意の3カ月の合計売上高が、コロナ以前の同3カ月の合計売上高と比較して、**15%以上減少**している中堅企業。

②事業終了後3～5年で、付加価値額又は従業員一人当たり付加価値額の年率**5.0%以上増加**を達成すること。

③グローバル展開を果たす事業であること。

事業再構築のイメージ

- 小売店舗による衣服販売業を営んでいたところ、コロナの影響で売上が減少したことを契機に店舗を縮小し、ネット販売事業やサブスクリプション事業に業態を転換。
- ガソリン車の部品を製造している事業者が、コロナ危機を契機に従来のサプライチェーンが変化する可能性がある中、今後の需要拡大が見込まれるEVや蓄電池に必要な特殊部品の製造に着手、生産に必要な専用設備を導入。
- 航空機部品を製造している事業者が、コロナの影響で需要が激減したため、当該事業の圧縮・関連設備の廃棄を行い、新たな設備を導入してロボット関連部品・医療機器部品製造の事業を新規に立上げ。



【補助対象企業(申請の要件)①】

新規事業分野への進出等の
 ○新分野展開 ○業態転換
 ○事業・業種転換 ○事業再編
 ○上記の取組を通じた規模の拡大等

上記の取り組みを行う企業が申請可能。
 申請書に左記内容を記載する必要がある。

以下の理由により、**上記のハードルは低くなると思われる。**

- ①ハードルを高くすると申請数が減り、予算を使い切れなくなる
- ②コロナ禍の影響を受けた企業への救済措置の意味合いが強い

【補助対象企業(申請の要件)②】

企業等と認定支援機関が共同で
 事業計画を策定する。

『認定支援機関確認書』の提出が必要？
ひまわり経営サポートは認定支援機関です。

【補助対象企業(申請の要件)③】

申請前の直近6カ月間のうち、任意の
 3カ月の合計売上高が、コロナ以前の
 同3カ月の合計売上高と比較して10
 %以上減少している中小企業等。

『申請前の直近6カ月のうち、任意の3カ月』
 ではなく、『2020年9月～2021年2月のうち、
 任意の3カ月』になる可能性が高い。

★給与アップの要件はない。



製造業)

航空機部品を製造していたところ、コロナの影響で需要が減少

当該事業の圧縮・関連設備の廃棄等を行い、
 ロボット 関連部品・医療機器部品製造の事業を新規に立上げ。

補助経費の例: 事業圧縮にかかる設備撤去の費用、
 新規事業に従事する従業員への教育のための研修費用など

小売業)

衣服販売業を営んでいたところ、コロナの影響で客足が減り、売上が減少

店舗での営業規模を縮小し、
 ネット販売事業やサブスクサービス事業に業態を転換。

補助経費の例: 店舗縮小にかかる店舗改修の費用、
 新規オンラインサービス導入にかかるシステム構築の費用など

飲食業)

レストラン経営をしていたところ、コロナの影響で客足が減り、売上が減少

店舗での営業を廃止。オンライン専用の注文サービスを新たに開始し、
 宅配や持ち帰りの需要に対応。

補助経費の例: 店舗縮小にかかる建物改修の費用、
 新規サービスにかかる機器導入費や広告宣伝のための費用など

【公募回数】

『1回の公募』で予算を使い切る予定。
 予算が余った場合、追加公募を行う。 } 結果として『複数回の公募』
 →初回の申請に間に合わせられるかが重要

基本的に『2021年春』の1回のみの実施を予定している。
 しかし、予算が余り、『追加公募』が行われるものと思われる。
 本補助金は『基金造成(=年度またぎ)』で実施される。
 基金造成の意図は『事業実施期間』に余裕を持たせるためであり、
 複数年での公募を意図しているわけではない。

【公募開始時期】

2021年2月末頃から3月中

中小企業庁は早急に実施したいと考えており、『2月末頃』の公募開始を目指している。
 しかし、『2月末頃』に間に合わず『3月中に公募開始』となる可能性が高い。

【公募締切時期】

2021年のゴールデンウィーク明け

公募開始時期が遅くなると、それに合わせて締切日も後ろにズレる。

今すぐにも、申請の準備に取り掛かる必要がある

予算額: 1兆1,485億円

採択企業へ給付される金額を1兆1,000億円と想定すると...

1社あたりの平均給付額が4,000万円の場合 → 2万7,500社採択

1社あたりの平均給付額が3,000万円の場合 → 3万6,666社採択

【参考資料①: 過去のものづくり補助金の申請数と採択率】

実施年度	申請数	採択数	採択率	予算
2018年度1次	17,275件	9,518件	55.1%	1000億円
2018年度2次	6,355件	2,471件	38.9%	
2019年度1次	14,927件	7,468件	50.0%	800億円
2019年度2次	5,876件	2,063件	35.1%	
2020年度1次	2,287件	1,429件	62.5%	800億円 + 400~500億円
2020年度2次	5,721件	3,267件	57.1%	
2020年度3次	6,923件	2,637件	38.1%	
2020年度4~5次				

事業再構築補助金の採択率はかなり高くなると予想される



中小企業の補助額と補助率

	コース	補助金額	補助率	補助率
中小企業	通常枠	100万円～6,000万円	2/3	採択されやすい
	卒業枠 (400社限定)	6,000万円～1億円	2/3	採択困難

【卒業枠とは】

卒業枠: 400社限定。

計画期間内に『①組織再編、②新規設備投資、③グローバル展開』のいずれかにより、資本金又は従業員を増やし、中小企業から中堅企業へ成長する事業者向けの特別枠。



中堅企業の補助額と補助率

	コース	補助金額	補助率	補助率
中堅企業	通常枠	100万円～ 8,000万円	1/2 (4000万円超は1/3)	採択されやすい
	グローバル V字回復枠 (100社限定)	8,000万円～ 1億円	1/2	採択困難

【通常枠の補助金額】

8,000万円の計画: $8,000万円 \times 1/2 = 4,000万円$ 補助額: 4,000万円

1億4,000万円の計画: $(8,000万円 \times 1/2) + (6,000万円 \times 1/3) = 6,000万円$ 補助額: 6,000万円

【グローバル回復枠とは】

グローバルV字回復枠: 100社限定。

以下の要件を全て満たす中堅企業向けの特別枠。

- ①直前6カ月間のうち、任意の3カ月の合計売上高が、コロナ以前の同3カ月の合計売上高と比較して、15%以上減少している中堅企業。
- ②事業終了後3～5年で、付加価値額又は従業員一人当たり付加価値額の年率5.0%以上増加を達成すること。
- ③グローバル展開を果たす事業であること。



【中小企業の定義】: 製造業の場合

- ①資本金3億円未満
- ②従業員数300人未満
- ①②の両方、もしくは①②のいずれかを満たす法人

【中堅企業とは(現段階では未公表)】

予測① ← **こちらになる可能性が高い**
 資本金1億円以上10億円未満の法人

ものづくり補助金の活用は不可だが
 事業再構築補助金の活用は可能



予測②
 中小企業で、規模の大きな中小企業



レーザー加工機や門型複合加工機などの**高額な工作機械導入に有効な補助金**

【補助対象経費】

- 設備費/システム購入費
- 外注費(加工、設計等)
- 技術導入費(知的財産権導入に係る経費)
- 建物費
- 建物改修費
- 広告宣伝費/販売促進費(広告作成、媒体掲載、展示会出展等)
- 研修費(教育訓練費等)

など

【注】補助対象企業の従業員の人件費及び従業員の旅費は補助対象外

コンプレッサーや工場のクレーン、集塵機なども補助対象となる。
 工作機械導入にあたっての**基礎工事費**なども補助対象となる可能性が高い。
 複数の工作機械を抱き合わせでの申請やCAD/CAM導入も補助対象となる。

複数の機械を導入する場合、**ものづくり補助金と併用可能**。
 例)ファイバーレーザー加工機を再構築補助金、NC旋盤をものづくり補助金で申請。

**2・3年後に必要な機械でも、今申請し導入するべきです。
 申請に“建物が含まれる”場合は、すぐに見積依頼をかけてください**



【このような企業も申請可能です】

- 赤字の企業でも採択されます。
- 債務超過の企業でも採択されます。
- 飲食業・小売業など、製造業以外でもすべての業種・業態で申請可能です。

【下記ポイントにはご注意ください】

- 最低限のパソコンスキルが必要です。
- 機械代の支払い後に補助金が給付されます。



【申請支援費用】

補助金額(もらえる額)	支援費用
~2000万円	12%
2000万1円~4000万円	12% 10%
4000万1円~	12% 8%

着手金 無料

支援内容 再構築補助金の申請書の作成

不採択時：無料

早期依頼割引[2月26日まで] 実施^{※4}

成功報酬金は採択発表日の月末締め、翌月末払いです。
成功報酬金の支払いを『補助金入金後』まで延期することが可能です。^{※5}
 →成功報酬金の額が大きいため、ユーザーは成功報酬金の支払い条件に柔軟に対応可能なコンサル会社が好ましい。

※1 一時預かり金として、10万円をサポート開始時にお預り致します。
 一時預かり金について、採択時は成功報酬に充当します。不採択時は全額ご返金致します。

※2 成功報酬金の下限は90万円(税別)です。

※3 遠方の場合、別途遠方対応費をいただきます。

※4 早期依頼割引の利用の場合、申請支援の契約時に購入機械の見積書を用意してください。

※5 成功報酬金の支払いを延期する場合は成功報酬金を増額いたします。

※6 弊社の支援は採択結果までとなります。



ものづくり補助金

あと2年の継続実施は決定している。

- 5次申請の締切:2021年 2月19日
- 6次申請の締切:2021年 5月
- 7次申請の締切:2021年 8月
-

概ね3カ月ごとに締め切り、審査する



中小企業生産性革命推進事業の特別枠の改編

令和2年度第3次補正予算案額 2,300億円

中小企業庁 技術・経営革新課 03-3501-1816
 中小企業庁 小規模企業振興課 03-3501-2036
 商務・サービスG サービス政策課 03-3580-3922

事業の内容

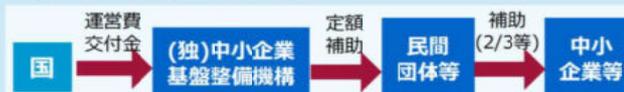
事業目的・概要

- 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、感染拡大を抑えながら経済の持ち直しを図るため、中小企業のポストコロナに向けた経済構造の転換・好循環を実現させることが必要です。
- 新型コロナウイルス感染症の流行が継続している中で、現下及びポストコロナの状況に対応したビジネスモデルへの転換に向けた中小企業等の取組を支援するため、令和2年度一次・二次補正で措置した特別枠を新特別枠（低感染リスク型ビジネス枠）に改編します。（※現行の特別枠は令和2年12月で募集終了）

成果目標

- ものづくり・商業・サービス生産性向上促進事業により、事業終了後4年以内に、以下の達成を目指します。
 - ・補助事業者全体の付加価値額が年率平均3%以上向上
 - ・補助事業者全体の給与支給総額が1.5%以上向上
 - ・付加価値額年率平均3%以上向上及び給与支給総額年率平均1.5%以上向上の目標を達成している事業者割合65%以上
 - 小規模事業者持続的発展支援事業により、事業終了後2年で、販路開拓で売上増加につながった事業者の割合を80%とすることを目指します。
 - サービス等生産性向上IT導入支援事業により、事業終了後4年以内に、補助事業者全体の労働生産性の年率平均3%以上向上を目指します。
- ※ 3事業とも、補助事業実施年度の生産性向上や賃上げは求めないこととします。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

【低感染リスク型ビジネス枠における各補助事業の拡充内容】

補助上限・補助率	通常枠	低感染リスク型ビジネス枠
ものづくり補助金 (設備導入、システム構築)	1,000万円・ 1/2(小規模 2/3)	1,000万円・2/3
持続化補助金 (販路開拓等)	50万円・2/3	100万円(※)・3/4 ※ 感染防止対策費も一部支援
IT導入補助金 (IT導入)	450万円・1/2	450万円(※)・2/3 ※テレワーク対応類型は150万円

①ものづくり・商業・サービス生産性向上促進事業（ものづくり補助金）
 （補助額：100万～1,000万円、補助率：2/3）
 対人接触機会の減少に資する、製品開発、サービス開発、生産プロセスの改善に必要な設備投資、システム構築等を支援します。

②小規模事業者持続的発展支援事業（持続化補助金）
 （補助上限：100万円、補助率：3/4）
 小規模事業者等が経営計画を作成して取り組む、ポストコロナを踏まえた新たなビジネスやサービス、生産プロセスの導入等の取組を支援し、その取組に資する感染防止対策への投資についても、一部支援します。（※）
 ※補助対象経費のうち1/4を上限として感染防止対策を支援

③サービス等生産性向上IT導入支援事業（IT導入補助金）
 （補助額：30万～450万円（※）、補助率：2/3）
 ※テレワーク対応類型は補助上限150万円
 複数の業務工程を広範囲に非対面化する業務形態の転換が可能なITツールの導入を支援します。また、この中において、テレワーク対応類型を設け、テレワーク用のクラウド対応したITツールを導入する取組を支援します。



【特別枠改編の要点】

【2020年度実施分の特別枠】
A類型: サプライチェーンの毀損への対応
B類型: 非対面型ビジネスモデルへの転換
C類型: テレワーク環境の整備



【2021年度実施分の特別枠】
テーマは『対人接触機会の減少』
名称も
『低感染リスク型ビジネス枠(新特別枠)』
に変更

「『対人接触機会の減少』に合致していない」場合でも、
通常枠での申請が可能です。
まずはひまわり経営サポートにご相談ください



【ものづくり補助金、持続化補助金、IT導入補助金の合計】
特別枠の予算額: 2,300億円
⇒ 1,200億円以上が『ものづくり補助金』に分配?

【ものづくり補助金、持続化補助金、IT導入補助金の合計】
通常枠の予算額: 3,600億円(3年分の費用)
⇒ 約800億円以上が『今年のもものづくり補助金』に分配?

『2021年度実施のものづくり補助金』の採択企業へ給付される金額を2,000億円と想定すると...

1社あたりの平均給付額が800万円の場合 ⇒ 2万5,000社採択

ものづくり補助金の採択率はかなり高くなると予想される



『訪問』と『WEB会議』のどちらにも対応します

『訪問』

「訪問してくれないと不安だ」。クライアントからよく聞く話です。
手間を省くために訪問しないコンサル会社が増えており、『顧客満足度の低下』『トラブルの原因』になっています。

『WEB会議』

このようなご時世なので、WEB会議で完結させることも可能です。

クライアントの希望に合わせて対応します。